

不登校児童・生徒の実態調査 結果概要

【調査目的・内容】

- ・コロナウイルス感染を恐れる等、休校明け新たに登校できない児童・生徒の把握
- ・調査期間内に一度も学校に登校をできていない児童・生徒数の調査

【調査期間】

- ・令和2年6月15日（月）～19日（金）
※6月12日（金）をもって分散登校が終了したため、上記の期間で調査を実施

【調査対象】

- ・小学校全52校全児童（天津わかしお学園含む）
- ・中学校全22校全生徒
（小中学校ともに、特別支援学級知的固定児童・生徒を含む）

【調査結果】

○小学校調査結果（6月22日時点）

- ・調査期間内に一度も学校に登校できない児童数 → 143名
- ・コロナを恐れ、保護者が登校させない児童数 → 39名
- ・関係機関との連携がなく登校することができない児童数 → 34名
- ・休校明けに新規に不登校になった児童数 → 40名

○中学校調査結果（6月22日時点）

- ・調査期間内に一度も学校に登校できない生徒数 → 145名
- ・コロナを恐れ、保護者が登校させない生徒数 → 3名
- ・関係機関との連携がなく登校することができない生徒数 → 41名
- ・休校明けに新規に不登校になった生徒数 → 12名

【その後の対応】

- ・教育委員会事務局各課を横断した不登校増加対策PTにて、重篤な児童生徒の対応を検討
- ・不登校（傾向）生徒向け進路説明会・個別相談会の実施：7月18日（土）
- ・生涯学習センター主催フォーラム「不登校を考える」の実施：9月20日（日）
- ・NPO法人と連携した不登校児童・生徒への対応